

日本大学第三学園生徒支援会レター

第3号

2011年2月24日発行
発行:生徒支援会役員会

日本大学第三学園の「教育方針」 理事長 桜井 勇

私の基本的な教育理念をお伝えする前に、略歴を簡単に申し上げます。

昭和34年3月 日本大学医学部卒業
昭和39年3月 同 大学院医学研究科 博士課程修了
昭和42年～45年 シカゴ大学医学部、ハワイ大学医学部
昭和54年6月 日本大学教授(病理学)
平成8年10月 日本大学医学部長
平成19年10月 日本大学第三学園理事長
平成20年9月 日本大学常務理事



この間、医師国家試験委員、日本病理学会理事、医学教育学会運営委員等

日本大学の教育目標は「自主創造」です。自分の心で感じ、自分の頭で考え、自分の体で行動に現すことの出来る人の育成です。本校の校訓は「明るく、正しく、強く」です。これは明確に正しいことを貫く強い心をも表しています。そのような人を育成するために、カリキュラムを企画し、入学者選抜制度を工夫して、そのような目標に賛同し且つカリキュラムに適應可能な人に入学してもらいたいのです。生徒の父母と学校との協同作業を展開するためにも学習支援センターを設置し、授業以外(スポーツ、文化・芸術のクラブ活動等)の活動をより活発にしたいと思います。

偏差値思想が蔓延している日本では、まず教職員の意識改革から始める必要がありますが、幸いに本校教員にはその面での理解が急速に進んでおります。

本校の生徒たちを観ると、現在の日本では希薄になってしまった日本人の美德である純心、素直、礼儀、自己犠牲、思いやりの心を持つ若者で占められています。生徒たちの父母を始めとしたご家庭がそのような雰囲気でも包まれているためでしょう。そのような好ましい状況の中で、生徒たちの知的好奇心と学問(運動や芸術を含む)への情熱をいっそう醸成できるような学園にしたいと考えています。偏差値を上げることを主目的にはしていません。そして生徒達が自分の将来を自分で選択することができるような環境が望ましいと思います。

日本大学の教育目標と本校の校訓の実現を目指した具体的計画としては、入学者選抜制度の改革、知的好奇心醸成を企図するカリキュラム改編、カリキュラム外教育を援助する学習支援センターの設置および校舎などの新築、増改築などが既に理事会承認を含めて進行しています。

その中で、教職員を対象とするteacher/staff trainingも行われつつあります。

「クラス幹事選出にご協力を！」 最初の保護者会での選出にご協力ください。

新入生の学年を除き、各クラス幹事は、その年の最初の保護者会で選出することになっています。担任の先生のご協力の下、クラス幹事2名以内の選出にご協力をお願いします。クラス幹事の方は、一年間の委員会活動を通じて、生徒支援会の活動にご協力いただきながら、役員会と共に生徒支援のあり方を考えていただければと思います。

「クラス幹事ってどんな仕事をするの？」

22年度は、7月10日にクラス幹事参加による第一回幹事会を開催して、以下の三つの委員会を立ち上げ、生徒支援会活動を行いました。

- 1、リサイクル委員会（リサイクル活動担当）
- 2、イベント委員会（学校行事支援活動担当）
- 3、コミュニケーション委員会（新規活動検討担当）

本来であれば、クラス幹事はクラスを代表する保護者としてクラスを束ね、学級と家庭との連絡を主な業務とすることが考えられます。一方、今までは保護者会があっても、クラス担任と保護者のコミュニケーション、保護者同士のコミュニケーションがどちらかと言うと希薄だったと思います。

今年度の役員会では、保護者会のあり方を検討して、これらのコミュニケーションを可能な限り活性化することを目指しています。同じ学校に子供達を通わせる保護者として、積極的にコミュニケーションを図っていくことが大事な時代になっていると思います。

今後のクラス幹事のあり方としては、クラスではクラス担任と協力して、このようなコミュニケーションを活性化する役割、幹事としては、上記委員会活動を通じて、より良い学校環境の構築を考える役割があると思います。今後の検討課題です。

尚、来年度よりクラス幹事は、各クラス2名以内に改め、クラスによっては、2名のクラス幹事が選出されることになります。



「より良い学校環境づくり」 = 「より良い家庭環境づくり」 会長 浅井文輔

子供が大きくなってくると子供の自主性を尊重する局面が多くなってきますが、自主性を重んじるためには、子供達を取り巻く周辺状況を見極めながら、子供達が出した答えがいい方向を向いているか判断する能力が親に求められると思います。

親としての自分が、子供の正しい判断を促しているか常に考える必要があります。そのためにも、常に学校環境や学校情報にアンテナを張り、また、時には保護者同士のコミュニケーションから情報を集めて、親としての責務を果たす必要があります。そこに保護者同士のコミュニケーションの重要性があるのだと思います。

より良い家庭環境づくりの地道な積み重ねが、より良い学校環境づくりに繋がっていくのだと思います。子供達により良い背中を見せられるようにがんばりましょう。



「制服リサイクル販売は、やっぱり三覺祭でやります！」

今年度の生徒支援会では、リサイクル委員会と共に制服リサイクル販売時期を検討しました。年度初めの新規制服購入時期や保護者会、定期総会に合わせて、開催することも検討しました。保護者目線で、いつ制服リサイクル販売があったほうがいいのか、もう一度原点に戻って話し合いました。

結論は、やっぱり秋の三覺祭の時期が良いということになりました。

いろいろな家族の方々が来校される三覺祭の生徒支援会企画として、この制服リサイクル販売が末永く開催され、三覺祭の一つの目玉企画になることを願っています

「創立80周年事業として、耐震工事計画検討開始！」

教頭 佐々木 剛

前回、体育館および管理棟の改築についてお知らせいたしました。その件が計画された経緯には、80周年に当たり、施設の耐震診断を行ったことにあります。その結果、第一体育館と武道館では震度6程度であれば問題ないのですが、それ以上の大地震が起きた場合に心配があるので、補強が必要であるとの結果が出ました。

その際に、管理棟、一般教室棟、理科実験室棟について、現在は問題ないが念のために補強しておいた方がよいと診断されました。この結果をもとに、現在問題ないとされている施設にも以下の補強工事を行う計画が始まりました。

① 各教室前廊下のピロティ側に耐震壁を設置

上階を支えるためのものです。若干、廊下が暗くなってしまうかもしれません。

② 職員室下の吹き抜けに筋交いを設置

職員室を支えるためのものです。中央階段からの見通しが悪くならないよう、できるだけ、小面積での設置を考えています。

③ 実験準備室(中学・生物)の窓を1箇所ふさぐ

上階の実験室を支えるためのものです。
生徒が使用する実験室には影響はありません。

阪神大震災から16年、関東地域にも大地震が起こるだろうと言われ続けています。

本校の近くには立川断層という活断層もあります。被害を最小限に抑えるための工事は行いますが、その場にいる人間の行動により被害の規模は

大きく変わると考えられます。この機会に、学校生活を送る教職員、生徒ともにいざというときの準備をしておくことを意識していきたいと思えます。



生徒支援会主催「校長先生を囲む会開催！」

学校と保護者のコミュニケーションを直接図る第一歩として、1月29日(土)13:00から「校長先生を囲む会」が本校講堂にて開催されました。その一部をご報告します。参加者は、73名でした。

12:30から、生徒支援会浅井会長より、生徒支援会役員会活動概略報告が行われ、校長先生を囲む会の開催趣旨説明がありました。

引き続き、13:00から生徒支援会井上理事の司会で校長先生を囲む会が始まりました。事前に皆様からいただいた質問事項を分類し、大きく以下の4つの事項について、校長先生からお話がありました。

- 1、学校施設の耐震検証と校舎の増改築について
- 2、バスの増発調整について
- 3、大学進学と検定試験について
- 4、食堂の利用について

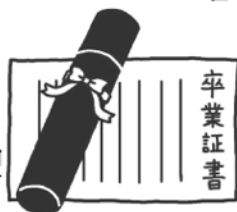
その他、昨年から行われている生徒による授業評価のお話もありました。保護者会員の皆様からいただきました質問については、どのように回答するか役員会で協議していきたいと思っております。時間がかかるかもしれませんが、気を長くしてお待ちください。



生徒支援会設立後初めての校長先生との対話機会でしたが、今後もこのような機会が必要であると思います。今回は、中学校保護者と高校保護者を同時対象に行いましたが、質問内容や関心事が中学校と高校では違うこともあり、今後は中学校と高校を分けて行うことも考えていきたいと思っております。生徒や保護者対象の講演会等の企画も今後実施できるといいと考えています。

学校が考える生徒の自尊感情を高める指導は何かと言った質問が参加保護者からあったり、子供から直接学校からの配布物が届かない現実に対し、ホームページ等で配布物の周知をしたらどうかとの意見もありました。

校長先生との直接対話の重要性を再認識する一方、クラス担任と保護者のコミュニケーションも大事だと思います。クラス担任の先生方とのコミュニケーション機会である保護者会のあり方も、学校側と検討を進めています。少しずつ、学校と保護者のコミュニケーション機会が増えていけばいいと思います。今回の企画が、そのきっかけになればと願っています。



編集後記

生徒支援会レター第3号最後までお読みいただき、ありがとうございます。卒業式もまもなくです。4月には、入学試験を勝ち抜いた新入生が入学します。いろいろな気持ちが交錯する時期でもあります。生徒支援会活動一年目のラストスパートを意識して、残り約3ヶ月を過ごしていきたいと思っております。より良い学校環境構築に向けて、ますますのご協力をお願いいたします。